

## ムササビ *Petaurista leucogenys* (Temminck)

### 【選定理由】

ムササビの生活はスギ林に依存しており、都市近郊では社寺林として残された杉林を主な生活場所としている。こうした社寺林はたとえ境内の樹木が保存されていても、その周囲が宅地化などによって開発されたり、飛び移れる樹木が失われることによって生活可能域の分断・孤立化が起こり、地域個体群が分断・縮小・絶滅へすすむと考えられる。

### 【形態】

頭胴長 340～483mm、尾長 280～414mm、後足長 60.5～71.0mm、耳介長 35～43mm、頭骨最大 66.0～68.6mm。大型でニホンモモンガ同様、前肢の手根部から後肢の膝にかけて飛膜を持ち、滑空することができる。背面の毛色は褐色系であるが地域によって変化し、腹面は白色。切歯孔はきわめて小さく、歯隙長の 1/2 以下。下顎の角突起は幅広いが、ニホンモモンガのようにねじれない。歯式は I1/1, C0/0, P2/1, M3/3=22 (子安・織田, 2009 など)。

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

犬山市、春日井市、名古屋市(守山区東谷山)、瀬戸市、豊田市、岡崎市、設楽町、豊根村、東栄町、新城市、豊川市、豊橋市(宮尾ほか, 1984; 春日井市, 2008; 子安・織田, 2009; 名和, 2015; 子安ほか, 2016; 子安, 2018)。田原市の 2 カ所の貝塚から出土している(山崎・織田, 2005; 子安, 2014)。

#### 【国内の分布】

本州、四国、九州にのみ分布(Oshida, 2015)。

#### 【世界の分布】

日本固有種(Oshida, 2015)。

### 【生息地の環境／生態的特性】

低地から亜高山帯までの山地帯森林に生息し、夜行性。樹上性で、樹洞もよく利用するほか、樹上につくった球状の巣を利用する。樹木の葉、芽、花、果実、樹皮、種子などを食べる。生活はスギ林に依存しており、スギの樹皮は巣材としても食用にも用いられ、雄花と若枝の根元は特に好んで食べる。冬と初夏に交尾し、74 日ほどの妊娠期間をへて、1 回に 1～2 仔を産む。雄が生殖可能になるまで 2 年近く必要である(子安・織田, 2009 など)。

### 【現在の生息状況／減少の要因】

県内での分布は比較的広く、9 市 2 町 1 村で生息が認められている。都市近郊ではスギの大木のある社寺林で生息の認められることが多く、こうした場所ではスギの樹皮の剥皮跡が認められたり、糞や若枝の先端が落ちていたり、板壁に穴があげられているのでムササビの生息が確認できる。スギ林に依存した生活を送っているために、スギ林そのものやその周囲の森林や林の伐採はムササビの移動を制限して隣接する個体群との遺伝的交流を減らして孤立化させ、ついには絶滅に至ると考えられる。

### 【保全上の留意点】

周囲に森林や林の存在しない島状の生息地(例えば都市近郊の社寺林で周囲が田畑や宅地に囲まれている場所)となるような生息場所では樹木の伐採によってムササビの移動が制限されないように留意すべきである。

### 【特記事項】

田原市の縄文遺跡(伊川津貝塚・保見貝塚)から出土していることから(山崎・織田, 2005; 子安, 2014)、渥美半島では縄文時代以降に絶滅した可能性が高い。2009 年における県内分布図(子安・織田, 2009)に比べて今回の分布が拡大したように見えるのは、実際の分布域の拡大ではなく、豊田市における詳細な分布調査によるものと考えられる(子安ほか, 2016; 子安, 2018 参照)。名古屋市熱田区の玉ノ井遺跡(縄文～弥生)からも出土している(新美, 2003)。化石は、本州南部の中期更新世、本州中南部・四国・九州の後期更新世、本州・四国・九州の完新世から出土している(Oshida, 2015)。

### 【引用文献】

春日井市, 2008. 平成 18・19 年度自然環境保全地区候補地二次調査報告(概要版), 8 pp. 春日井市, 愛知県春日井市。

子安和弘, 2014. ムササビ. レッドデータブックおかげさき 2014, p.174. 岡崎市, 愛知県岡崎市。

子安和弘, 2018. 人家から奥山まで生息する哺乳類. 新修豊田市史 別編自然, pp.586-603. 豊田市, 豊田。

子安和弘・織田鉄一, 2009. ムササビ. レッドデータブックあいち 2009 動物編, p.81. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋。

子安和弘・岡田慶範・小鹿登美・吉村文孝, 2016. 哺乳類. 豊田市生物調査報告書<分冊その 3>, pp.337-367. 豊田市, 豊田。

宮尾嶽雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 愛知の動物, pp.286-235. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋。

名和 明, 2015. ムササビ. レッドデータブックなごや 2015 動物編, p.38. 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 名古屋。

新美倫子, 2003. 玉ノ井遺跡第 3 次調査出土の動物遺体, 埋蔵文化財調査報告 44, pp.157-158. 名古屋市教育委員会。

Oshida, T. 2015. *Petaurista leucogenys* (Temminck, 1827). The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.200-201. Shoukadoh Book Sellers,

Kyoto.

山崎 健・織田鉄一, 2005. 愛知県における遺跡出土の食虫類・齧歯類(縄文時代～弥生時代). マンモ・ス特別号, (7): 10-16.

(子安和弘・織田鉄一)

県内分布図

